

平成 23 年度第 2 回緑区地域福祉計画推進協議会議事要旨

【開 催】

開催日時 平成 23 年 8 月 27 日（土）14：00～16：04

開催場所 緑区保健福祉センター 3 階 大会議室

出席者 委員 18 名中 17 名出席、手話通訳者 2 名
事務局 5 名（緑保健福祉センター長、高齢障害支援課 2 人、社協緑区事務所 2 名）、市地域福祉課 2 名

【次 第】

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 新委員紹介 【第 14 地区連協 小山 義春、社協おゆみ野地区部会 山田 清】
- 4 議題
 - ◆平成 23 年度緑区地域福祉計画の推進について
- 5 その他
 - (1) 九都県市合同防災訓練について
 - (2) 地域福祉課よりリーフレットのご案内
 - (3) 生活習慣チェック
 - (4) 次回開催日程
- 6 閉会

【議事及び質疑要旨】

4 議題 平成 23 年度緑区地域福祉計画の推進について

委員長が平成23年度緑区地域福祉計画の推進についての概要を説明した。その後、別添「緑区地域福祉計画推進協議会会報No.26」を基に第1回推進協の経過報告と第2回推進協以降の進め方について説明した。

主な発言内容は以下のとおり。

(委員長) 本日進める内容については、別紙「会報 No.26」を参照いただきたい。前回は各委員から 23 年度緑区地域福祉計画について 5 つのキーワードに沿った重点目標の活動予定等について意見を徴収した。今回は、一例として配布資料 4 枚目の〇〇委員の提案に基づき、重点目標のテーマを設定させていただいた。それは、「施設の入居者との交流促進－中学生の手紙の交換による絆の実践」を進めていきたいと考えている。

ねらい①は、高齢者に生きがいと希望を与え共に生きる喜びを分かち合う。中学生は、高齢者から知識・生き方・考え方を学び、高齢者は、中学生か

ら活力と希望を与えてもらう。

ねらい②は、緑区内中学生の福祉活動の一環として広めたり、日本及び緑区の福祉についての関心を高めるといようなねらいを持って計画の推進を図りたい。

計画推進の内容については、内容 1～5 にあるように、まず小委員会（施設・委員・事務局）を設置し内容を検討、施設と緑区内の中学校長との懇談会の開催を検討、施設・学校に対して協力を呼びかける。また、ポスターやチラシを作成し呼びかけを行い、推進協にて協力を呼びかけ、12 月頃実施する予定の計画を作成した。これは、〇〇委員が計画していたものを私なりに作成したものである。

皆さんが書いてくださったものを基に、現在このように進めているとか、進めていきたいというようなことに対してお話していただく形で会議を進めていきたい。まず〇〇委員からお願いしたい。

（菅田地区委員） 施設での中学生の受け入れについては過去にも実施しているが、どちらかというと施設は受け身である。学校からの申し出により受け入れを実施している。今回この推進協で取り上げたのは、もう少し積極的に施設と学校とがタイアップして計画的に進めていきたいと考えている。重点計画 1 のコミュニケーションの課題にまさにピッタリだと思っている。進め方としては、委員長からの説明もあったが、中学校の校長先生との懇談会等、私が考えていた内容を拡大して考えてくださっていた。緑区内にもたくさんの中学校があり、どこを対象にしたら良いかというのがあったが、たまたま当施設の相談員が土気中学校の出身ということもあり、土気中学校と話を進めていこうと思っていたところである。

（菅田地区委員） いろいろな作品を作りながら交流すれば、入居者の方々もとても明るくなってくる。夏休み中は中学校からの依頼で職場体験等を行っており、交流をしている状況である。いろいろな施設と中学校との交流を取り組んでいければと思う。

（委員長） これからどのように進めていくかを本日の会議で話し合えればと思う。意見があればお願いしたい。

（椎名地区委員） 椎名地区で何が一番困っているかを頭に描いて、事業名はコミュニティづくり、福祉活動の活性化を図るためには施設の活用を挙げた。今までは慣例的に事務所機能を椎名公民館に置かせていただいていた。会則にしても事務局は公民館に置くということにしていた。係員が常駐していなければ事務局としての機能は持たないので、事務局員が誰かしら半日は常駐している状態であった。そのような中、公民館の運営規制の中に社協の事務局を置いてはいけないということになり退去した状況である。地域で活動しようとしても活動場所及び拠点がなければ人が集まらない。公民館は当地区のちょうど真ん中に位置しており、一番活動しやすい位置に設置されている。今現在、公民館の使用を認めてほしいと行動を起こしている。予算の関係もあると思うが、今年度末までには何らかの形で拠点となり得る活

動をしたいと考えている。

(委員長) 皆さんの地区でも事務局というスペースはほとんどないと思うが、土気地区の大椎台は自治会館を持って進めていると思うが他ではあまりないのではないかと思う。

(おゆみ野地区委員) おゆみ野地区部会は 5 つの委員会に分かれて活動をしている。まず、7 月 18 日に障害者福祉委員会が主となり鎌取 C.C の円形広場で実施した。参加者数及びスタッフ数は記載の通りである。この事業は、各スタッフが一生懸命になり、竹で作った竹筒にそうめんを流したり、スイカ割りも行った。2 枚目は高齢者福祉委員会が主体となって行っているふれあい・いきいきサロンのことについて記載している。南警察署から高齢者の交通事故問題について話をしたいとの申し入れがあったので、サロンの時間を少し割いて講演をしていただいた。

(委員長) 元気もりもり夏休みというのは障害者を対象としているのか。

(おゆみ野地区委員) 障害者を対象とした事業であり、障害者福祉委員会が主体で事業を企画・実施している。

(委員長) 1 月 15 日も事業を実施する予定でよいのか。

(おゆみ野地区委員) 障害者委員会が主体で障害者の方々をお招きするもちつき大会を予定している。

(委員長) この場合は、どのような活動をしているのかをお互いに情報交換しているので、もう少し詳しく次回報告していただけるとありがたい。

(おゆみ野地区委員) 結果をまとめたものがあるので、次回はそれを発表できるようにしておく。

(委員長) ふれあい・いきいきサロンは何委員会がやっているのか。

(おゆみ野地区委員) 高齢者福祉委員会が主体で実施している。

(委員長) ふれあい・子育てサロンは何委員会がやっているのか。

(おゆみ野地区委員) こども・家庭福祉委員会である。

(障害者団体委員) 元気もりもり夏休みという事業は、障害者を対象としているようだが、どのような障害をお持ちの子どもたちが参加しているのか。障害には知的、身体、精神の 3 つの種類がある。

(おゆみ野地区委員) 障害者手帳をお持ちで会場まで来られる方はすべて対象としている。

(おゆみ野地区委員) 知的、身体、精神に関わらず参加できる方なら誰でも可能である。今まで養護学校や支援学級の生徒が大半であった。

(委員長) できれば開催した時のチラシも添えてほしい。

(おゆみ野地区委員) 地域の広報紙には事前に掲載している。

(土気地区委員) お楽しみ会の費用はどのようになっているのか。

(おゆみ野地区委員) 地区部会の予算の中から各委員会に予算が割り当てられており、その中から各事業費が支出されている。

(土気地区委員) 参加者がお金を出すということはないのか。

(おゆみ野地区委員) 元気もりもり夏休み等の障害者福祉委員会が実施する事業は参加費無料であるが、高齢者福祉委員会が実施しているいきいきサロンでは、3 月に開催するランチのつどいのみ参加者から 200 円の実費を徴収している。

- (委員長) 非常に具体的に書かれており、とても分かりやすくまとめられている。費用の面などの話もあったので、そのあたりを含めて記載していただくとよいかもかもしれない。
- (委員長) 別の委員会もあるのか。
- (おゆみ野地区委員) 広報委員会とボランティア委員会がある。
- (委員長) 次に〇〇委員の提案であるが、この訓練には明日参加するのか。
- (障害者団体委員) 明日参加する。
- (委員長) あとで〇〇委員からの提案の時に発表してもらおうと思っているがよろしいか。
- (障害者団体委員) 結構である。
- (おゆみ野地区委員) 何か手伝ってほしいこととか、是非参加してほしいとかあれば。
- (委員長) 災害時体育館に避難する場合、聴覚障害者の方は見た目では分からないと思う。私は聴覚障害者であるということが分かるようなプレートを胸から掲げておき、メモを書いてほしいというようなことをお話されていたが、今回も同じだと思うが、今後も実施していくのか。
- (障害者団体委員) 東京では、災害時に障害者だと分かるようなバンダナがある。聞こえないということの意味している。千葉市の聴覚障害者協会では検討中である。
- (委員長) 緑区の聴覚障害者として、このように進めていきたいという計画を立てていただきたい。
- (障害者団体委員) 分かった。
- (委員長) 障害のない方と障害を持っている方との交流をこのようにしてほしいというような提案をしていただけたらと思う。
- (誉田地区委員) 防災マップの作成であるが、まだ具体的には進めていない。現在、各町内自治会からの資料及び行政からの資料集めをしている最中である。それらを見ると非常に文言が多く難しいものが多いと感じる。それらを参考にしながら抜粋し、独居老人、高齢者も分かり得るような単純明快なマップを作りたいと考えている。市の行政マニュアルもあるが、文言が多く、全部読んでそれを網羅して避難するとなると大変な苦労がある。ここにあるような簡単なものを作りたい。
- (委員長) これは誉田地区全体で考えているのか。
- (誉田地区委員) とりあえずは鎌取地区だけで考えているが、区地域振興課安心係と相談しながら、地域に広めるのであれば広めてもらいたいと思っている。
- (委員長) 例えば、地図の中に落とし入れるという形を考えているのか。
- (誉田地区委員) 地図も必要だと思うが。
- (委員長) 見通しとしては。
- (誉田地区委員) 災害はいつ起こるか分からないので、早い時期にはと考えている。年度末ではなく、年末くらいには完成したいと思っている。
- (委員長) 次回は10月の開催なので試案的なものがあればお願いしたい。防災マニュアル・マップの作成については、試案的なものが鎌取町内会の〇〇委員から提出された段階で、皆さんと協議してどのようにしていくかを考えて進

めていきたい。これは是非、緑区全体として進めていきたいと考えている。
(おゆみ野地区委員) 8月7日におゆみ野地区連協(47町内自治会)で会長会を開催し、その中で緑区保健福祉センターの小口所長にお越しいただき、地域福祉計画についてスライドと簡単な小冊子を使用しながら説明いただいた。

お手元の資料は、ちょっと順序が違うが、第1回推進協の際に報告した3点についてである。まず、自治会の結成と加入促進、次に自主防災・自主防犯組織の充実促進、最後に災害時要援護者支援体制の充実である。これはすべて、第2期緑区地域福祉計画に沿ったものである。今日はその中間報告をさせていただく。

自治会の結成と加入促進についてだが、地区連協の中に委員会を設け地域住民と自治会長、区地域振興課の情報を集めて、どのような地域、どのようなところを対象にして結成、加入促進を図っていこうかということで、緑区役所内に大きなマップを作成した。そのマップの中には、対象地域が20箇所ある。それぞれの委員と区地域振興課で当たってはいるのだが、既に管理組合、防災会ができていて自治会がない、自治会はあるが半分くらいしか世帯が加入していないなど。結局のところ自治会は必要なのか、何のメリットがあるのかといった意見があった。逐一項目別にまとめながら、対象自治会の特性にしたがって個々に折衝している。

一つ面白い現象があるので紹介する。自治会の加入結成について無関心な大人が多いが、子どもが仲立ちしている。自治会に加入していない家の子ども達には地域の行事が伝わらない。市民体育祭や駅伝、ウォークラリーといった地域の行事の広報は、各主催地域団体がおゆみ野地区連協の自治会の会長に対して回覧を依頼しているためであり、自治会に加入していないところには情報が伝わっていない。そうした時に「どうして私の家には回覧がこないの、行事に参加できないの」といった、子ども達の突き上げから大人が動き出すといった現象が起きている。

次に自主防災・自主防犯組織の充実促進についてだが、自主防災会加入促進対象自治会を4自治会、自主防犯パトロール隊組織5箇所くらいを目指しているが、あくまで目標である。

最後の災害時要援護者支援体制についてだが、避難訓練、防災訓練において高齢者や障害者の方々をどのように的確に避難させるのかを訓練を通して固めていきたいと考えている。その一つのきっかけとして、学校と地域いわゆる自治会が学校連絡会という学校の校長先生を中心とした呼びかけを一部の地域で行っている。近い将来には、学校を中心として地域の自治会が集まり、学校での避難訓練に参加しコミュニケーションをとっていく。その中で高齢者や障害者という災害時要援護者の支援体制も徐々に形作られていくのではないかと思う。

(委員長) 自主防災組織の結成目標は4地域でよろしいか。

(おゆみ野地区委員) 4地域くらいはできると思う。

(委員長) 自主防犯組織の結成目標は5地域でよろしいか。

- (おゆみ野地区委員) あくまで目標だが 10 地域くらい。
- (委員長) アンケートはどのような形で取るのか。
- (おゆみ野地区委員) 緑区地域振興課のくらし安心室がアンケート調査をしており、どこの自治会がどのような状況であるというのはだいたい把握している。その情報を踏まえてくらし安心室と共同で既に申し上げたことを実施している。
- (委員長) あとで 1 部いただいてもよいか。
- (おゆみ野地区委員) まとまった資料があるので後ほどお渡しする。
- (委員長) 椎名地区の自治会加入率はいかがか。
- (椎名地区委員) 統計上は 51%となっているが、おゆみ野と椎名崎の境にある大膳野が 14 地区連協に属しており、この地域は自治会に加入しておらずマンションが立ち並んでいる。
- (委員長) 大膳野は椎名地区に属すのか。
- (椎名地区委員) 町名が大金沢町となっているため 14 地区連協に属しているのである。大善野という名前があるにもかかわらず地名が大金沢町となっている。
- (誉田地区委員) 椎名地区とは全然違う方ではないか。
- (おゆみ野地区委員) どうして椎名に入ってしまったのか。
- (椎名地区委員) 行政的な括りでそうってしまったのではないかと思う。
- (おゆみ野地区委員) 行政が悪い。
- (椎名地区委員) 地域振興課がどこかで区切らなければいけないということでこうなったのではないかと思う。話を聞いてみたところ、農業センターに住んでいた人が大膳野に移転させられたということである。農業センターは椎名地区である。〇〇委員が行おうとしている自治会加入促進について参考にさせていただきたいと考えている。
- (おゆみ野地区委員) 良いことはどんどん広まればと思っている。
- 先ほどのアンケートの関係で少し時間をいただきたい。3.11 の大震災発生後に行った自主防災組織に関するアンケートだが、①防災に関心がありますか(ある・ない)、②町内自治会で定期的に防災訓練を行っていますか(行っている・行っていない)、③日頃から地震に対して町内自治会では何か備えていますか(備えている・備えていない)、④災害時に避難する避難場所、避難所はご存知ですか(知っている・知らない)、⑤自主防災組織はご存知ですか(知っている・知らない)、⑥自主防災組織について詳細な内容が知りたいですか(知りたい・必要ない)、⑦⑥で知りたいと答えた方は、市の説明会を受けたいと思いますか(受けたい・必要ない)、⑧自主防災組織を結成すると市の助成が受けられるのをご存知ですか(知っている・知らない)、⑨自主防災組織を結成するうえで障害が何かありますか(ある・ない)、⑩⑨であると答えた方は、どのようなことですか、⑪今後自主防災組織を結成する予定はありますか(ある・ない)、先ほど私がお話しした自主防災組織の結成目標を 4 箇所と答えたのは、この⑪に予定があると回答した自治会が 4 箇所あったという具体的な裏づけがある。
- (委員長) その結果はあるのか。

(おゆみ野地区委員) もちろんある。おゆみ野地区の結果は、区ではなく防犯委員会が作ったものである。

(委員長) 防犯に関しては、まだそれぞれの地区でできていないところもあると思うので、今のお話等を参考にしたいと思う。

(おゆみ野地区委員) どうぞ参考にさせていただきたい。当地区の町内自治会はどのような意見を持っているかというのは出ているので、すべて情報はオープンにしたいと考えている。

(菅田地区委員) 防災組織はまだ設置されていないところが多く、とても偏りがある。住宅の密集地域はほとんど設置されているが、農村地域はほとんど設置されていない状況である。農村地域は必要と感じない。それは、何かあった時も外の畑に行けば安全であるし、食べ物なども 1 年くらいの食べるものは備蓄している。地域によって意識の差が大きく感じる。意識の高い低いに関わらず地域としてネットワークが作られればと思っている。去年は、講演会を実施したので、今年は少し具体的に体験型の何かをできないかと思っている。去年は 10 月に行事を行ったが、今年は区連協主催で防災関係の講演会を予定しているので、当地区は 2 月くらいに開催を予定している。次に交通問題のプロジェクトについてだが、去年の 12 月にチームを立ち上げ、最初は循環バスに関して意識を持っている方がおり、平成 21 年度に 23 地区連全体でアンケート調査を実施したところ、約 8,000 人の方が利用したいとの結果であった。その結果を基にプロジェクトチームを発足させた。このチームを作る際に循環バスと限定しないで、タクシーや移送サービスの関係もあるので交通問題全般をとということでスタートを切ったが、やはり循環バスに限定して検討している。今は、ルート、料金、利用するか等のアンケート調査をしたいということで検討している段階である。次回は、プロジェクトチームと役員会で会合を持つ予定である。役員の中には実現は難しいのではないかという意見もあるが、プロジェクトチームは月 2 回のペースで開催していただいている。

(委員長) 交通問題のアンケート調査はいつ頃実施する予定であるのか。

(菅田地区委員) プロジェクトチームの方々は 10 月くらいに実施したいということであったが、役員会から意見が出たのもう少し先になりそうである。

(委員長) 配付した資料「平成 23 年度緑区まちそだて事業補助対象団体一覧」の中の No.9-23 地区連(土気地区)交通問題プロジェクト会議に関連した事業であると考えていただければと思う。

(菅田地区委員) 発表の前に、先ほど話があった緑区連協主催の防災についての講演会は 10 月 29 日(土)に 3 月 11 日の大震災で被害の大きかった美浜区の自治会長さんに講演をしていただく。題目は「自治会と行政の繋がり」で実際の体験談をお話していただく予定である。午後 3 時から鎌取 C.C で予定しているので是非ご参加いただきたい。

障害者施設で陶芸の際に使用していたガス炉が必要なくなったので高齢者関係に寄付をしようということで施設から譲り受けた。このガス炉を使い

子供たちと一緒に陶器を作り、その陶器を敬老会などで高齢者へ配ろうではないか。その中に障害者も参加してもらおうと考えている。現在、20名ほどで勉強会をやっている。近い将来は、地域、行政を利用し借地に小屋を建て活動していこうと思っている。軌道に乗ったところで皆さんに周知していこうと思う。

(委員長) 年に1回くらいか。

(誉田地区委員) 年に2回の開催である。

(委員長) もう始めているのか。

(誉田地区委員) 6月に炉を移した。

(委員長) 既に障害者も来ているのか。

(誉田地区委員) 声かけをしている段階であり、まだ実際には来ていない。

(委員長) 配付した資料「平成23年度緑区まちそだて事業補助対象団体一覧」の中のNo.8ー誉田スポーツクラブについては何か情報があるか。

(誉田地区委員) 社会体育振興会とは別に子どもたちのいろいろなクラブを統合したものである。一般の高齢者も含めたまちづくりということで、各地区に一つのスポーツクラブがある。行政からの指導で会費を徴収しなければいけないということで、個人は3,000円、団体は各教室、野球クラブやマラソンクラブの中で3,000円を支払えば他のクラブに参加できるということを目的としている。町会の会員となった場合は、どのクラブでも自分が行きたい所へ事前に連絡すれば一緒に活動できるということである。現在14団体が加盟している。

(委員長) また、詳細な内容が分かり次第教えていただきたい。

(土気地区委員) ふれあい食事サービス事業、いきいきサロン、散歩クラブ、子育てサロン、地域住民対象事業を実施している。ふれあい食事サービスは、土気公民館と越智公民館で月1回しており、いきいきサロンは当地区内で17箇所が活動している。今年4月から新たに2箇所が新規に立ち上げられた。散歩クラブは4箇所、子育てサロンは第3木曜日と第4木曜日の月2回、あすみが丘プラザで開催している。広い和室なので子どもたちは走り回ったりして伸び伸び遊んでいる。地域住民対象事業としてウォークラリーを11月23日に開催を予定している。これはパイロット事業で始めたことがきっかけで開催したが、年々参加者が増えていったので現在に至っており、パイロット事業の予算が打ち切られたが何とか切りつめて地区部会の予算でやりくりしている。

(委員長) 次回までにいきいきサロン17箇所及び散歩クラブ4箇所、子育てサロン2箇所、ふれあい食事サービスを具体的に挙げていただければと思う。先ほどおゆみ野地区部会が報告していただいたように表にまとめていただければと思う。おゆみ野地区部会と土気地区部会についてはなるべく早めに事務局まで一覧にした表を送っていただきたい。

(おゆみ野地区委員) 先ほどの「平成23年度緑区まちそだて事業補助対象団体一覧」の中のNo.4防災関係について助成金をいただいた。アンケートについてだが、内容は

検討中となっているが、〇〇委員が発表したアンケート項目を参考にさせていただく。市政出前講座を平成 23 年 10 月 9 日に予定しており、来年 1 月に町づくりフォーラム第 3 回目を予定している。3 回にまとめて計画しており 1 年を通してやっていきたいと考えている。皆さんにご協力いただくと、思うがよろしくお願ひしたい。

小学校、中学校、高校生のなかなか外に出せない親子の問題、学校に行きたいけれどなかなか行けない、そんな子ども達が自分らしく、その子らしく生きるためにはどうしたら良いのか。我が子の経験を生かした奥地圭子さんに講師をお願いし、講演していただけることになった。この方は、東京シュールを開設され、現在も代表を務めている。平成 23 年 10 月 30 日(日)鎌取 C.C で開催を予定している。是非参加をお待ちしている。

(土気地区委員) 区計画 5-交通対策についてだが、移送サービス事業を始めて今年で 6 年目に入り、昨年の秋に存続の危機に陥った。今年目標としては、存続して収支を何とか黒字にしたいと考えている。原因としては、会員登録者の高齢者、障害者を安価で移送するため、タクシー料金の 1/2 以下という制約があるため苦しい状態ではある。現在 116 名の方が登録しているが、まず第 1 の目標としては、8 月 31 日に行われる協議会をパスすることである。9 月の末に登録更新を成功させたい。2 つ目の目標は、会員登録 140 名であるが、半分の 70 名を移送すれば収支がとんとんくらいにはなるのではないかと予想している。現在は 26 名なので、何とか年末までには達成したい。3 つ目は、事業単体での黒字化、ほぼ 95%が移送サービスに依存しているので、この中で何とか黒字化したい。現在、緑区では、私どもの団体しか運営していないので、これらの有償運送の登録や事業の運営などをまとめて、他の団体が活動したいということであればノウハウを広めていきたいと考えている。

(委員長) 現在、黒字運営はできているのか。

(土気地区委員) 黒字にはなっていない。累積負債で 100 万円くらいである。

(委員長) パーセンテージでいうとどのくらいか。

(土気地区委員) 今年目標はプラスマイナスゼロである。その代わり私の給料は下げている。人件費の犠牲の中でなんとか成り立っている。少なくとも私が終わって次の人に引き継ぐにしても、その方が食べていけなければ継続は難しい。他の団体がやると手を挙げた時にも実際に黒字になっていないとそのノウハウを教えることができない。

(委員長) どのくらい上げようと思っているのか。先ほど言っていた 140 名になれば黒字になるのか。

(土気地区委員) なる。更新登録の際に値上げを申請している。一つは利用会員から年会費をいただく。遠距離料金についてだが、例えば土気から川鉄まで 2,000 円で運行しているが、それを 2,500 円程度に値上げしたり、近場は何かなるのだが、遠方の場合はガソリン代や人件費の絡みで負担がある。その辺を少し値上げさせてもらうことと、会員を増やして年会費をいただくことでツ

ーペイになるのではないかと思う。

(委員長) ○○委員は雇われているのか。

(土気地区委員) 雇われている。

(委員長) そうなるとその会社は黒字になっているのか。

(土気地区委員) 会社というより、私一人しかいない。理事などの役職の方は 10 人いるが、実際に私の給料が出れば良いわけである。

(委員長) 何とか食べていけるだけの給料はもらっているのか。

(土気地区委員) 何とかギリギリである。年金を加えて食べていけている感じである。

(委員長) 移送サービスは大変そうである。頑張っていたきたいとしかいいようがない。

(土気地区委員) 最近は他の誉田地区等からの問い合わせが多い。土気を発着にしているので皆さんお断りしている状況である。

(委員長) 車は 1 台で運行しているのか。

(土気地区委員) 現在は 1 台で運行中である。

(委員長) 以上、皆さんから出されたものについてはすべて終了した。

(おゆみ野地区委員) 一つ補足説明したいのだが、ここで説明したことについて責任を持たないといけない。先ほど申し上げた自治会及び防災会についてのアンケート調査の結果について共有することは大事だとは思いますが、扱い方については自治会長の個人的見解や防災リーダーの個人的見解が載っているので軽はずみに公表するのはいけないと思う。例えば○○委員がおっしゃったように○○委員の組織が防災会について公的助成を受けて進めていきたいということであれば自治会との協力関係は結構なのだが、行政も含めて十分に話し合っ調整をしながら進めていきたいと考えている。一方的に一つの考え方を通そうとしたり、押し付けたりというのであればなかなかうまくいかない。あくまでも円満な調整のもとやっていきたいと考えている。

(委員長) 今おっしゃった通りだと思うので、資料を使う場合は行政が中心であれば、その許可を得なければいけない。あるいは実際に行動している自治会や連協の承認を得るといった形を取りたいと考えている。

(おゆみ野地区委員) 承認というと語弊があるので合議ですかね。

(おゆみ野地区委員) 行政というのは地域振興課か。

(おゆみ野地区委員) アンケートを取ったのは地域振興課のくらし安心室が中心となっている。

5 その他

(1) 九都県市合同防災訓練について

川瀬委員が九都県市合同防災訓練について説明した。

開催日：平成 23 年 8 月 28 日（日） 午前 9 時 30 分～

会 場：千葉市立有吉中学校【千葉市本会場】

※九都県市＝東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市

説明後、質疑応答が行われた。主な発言内容は以下のとおり。

(委員長) サブ会場を教えてください。

(おゆみ野地区委員) 椎名小学校、誉田小学校、土気南小学校である。

(委員長) 開催時間は。

(おゆみ野地区委員) 同じ時間である。

(土気地区委員) 誉田地区は人が集まりすぎて逆に困っている状況である。実際に訓練に参加できない場合もあるのでご了承いただきたい。

(2) 地域福祉課よりリーフレットのご案内

市地域福祉課及川係長から市地域福祉計画及び区地域福祉計画リーフレットについて説明した。

説明後、質疑応答が行われた。主な発言内容は以下のとおり。

(委員長) 各自治会に2つのパンフレットが配られるということである。

(おゆみ野地区委員) このパンフレット2種類は全く具体性のない抽象的なものである。市の宣伝のようなパンフレットである。このようなものをむやみやたらに配っても意味がないのではないか。我々が具体的にこの推進協で検討していることの一部とかであるのならば良いが、このような漠然とした抽象的なパンフレットでは、たくさんのお金を使って無駄な感じがする。今回はもう仕方ないが。

情報提供だが、この資料は知っているか。これは、3月31日付に発行された「緑区ガイド」というものである。このガイドには、我々が今話題にしている緑区内の各地域の避難場所や公共施設が掲載されている。先般、我々のおゆみ野地区連協は、小口センター長が講演をしにきてくれた際に全自治会長にいただいた。むしろこういうものにお金をかけ、できるだけ多くの方々に配っていただきたい。

(土気地区委員) それはどこにあるのか。

(事務局) 区役所の地域振興課で配付している。

(誉田地区委員) まだあるのか。確かないような気がするが。

(おゆみ野地区委員) ここにいる方の分だけでも確保できないか。

(事務局) 次回、会議の際には配付したい。

(3) 生活習慣チェック

委員長から緑区保健福祉センター健康課から協力依頼があった生活習慣チェックについて説明した。

- ・特に意見なし

(4) 次回開催について

◆第3回緑区地域福祉計画推進協議会

10月22日(土) 午後2時 緑保健福祉センター 2階 大会議室

◆福祉カレンダーの作成

10、11、12月版について、各団体で周知したい記事を記入の上、FAX送信して頂きたい。

委員長が閉会を宣し、第2回緑区地域福祉計画推進協議会は散会。